

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／経営史 (Business History)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	日本の経営の歴史を、江戸時代から現代まで学ぶ		
担当者名 (Instructor)	大場 隆広(OBA TAKAHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	BUS1700	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

この講義の到達目標は以下の点です。

- 1) 江戸時代から現代までの経済状況と日本企業の歴史的展開を把握できる
- 2) 日本的経営の内容を理解し、その今後の可能性について検討できるようになる
- 3) 様々な経営課題を歴史的に考察できるようになる

By the end of the course, the students should be able to :

- 1) grasp the Japanese business history
- 2) understand the Japanese management practices
- 3) discuss the various management issues from the historical point of view

授業の内容(Course Contents)

この講義では、江戸時代から現代までの日本企業の歴史的展開を学びます。

江戸時代から現代にかけて、日本は目覚ましい経済成長を遂げ、独特の経営システムを発展させてきました。

日本の経営の特徴を理解するために、授業では、特に、以下のトピックを取り上げていきます。

江戸時代から現代に至るまでの経営環境、経営組織、労務管理の展開、財閥と戦後の企業集団、流通イノベーション、日本の生産システム、日本的雇用慣行などです。

講義では、以下の問いに取り組む予定です：

「どのように、江戸時代の商人や明治時代の企業家はビジネスを行ったのか」、「どのように、日本は経済を近代化させたのか」、「日本的経営とは何か」。

歴史的観点から、これらの問いを検討する予定です。

This course explores the economic development of Japan from the 17th century (Tokugawa period) to the present.

During this period, Japan achieved impressive economic growth and developed unique management system.

In order to learn the characteristics of Japanese management, we will take up following topics: the business environment from Edo period to the present, management organization, development of labor management, zaibatus and post-war corporate groups, distribution innovation, Japanese production system, Japanese employment practices and so on.

This course will address the following questions: How did the merchants of Tokugawa Japan and Meiji entrepreneurs do their business? How did Japan industrialize its economy? What were the Japanese management practices? We analyze these issues from the historical point of view.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション: 歴史を学ぶ意味、江戸時代の経済・社会(初期豪商の経営)
2. 江戸時代の商家経営 1(都市大商家: 鴻池家と三井家)
3. 江戸時代の商家経営 2(商家の経営管理システム)
4. 近代産業経営の成立と政商・財閥: 岩崎弥太郎(三菱財閥)
5. 都市型ビジネスとサラリーマンの誕生: 小林一三(阪急電鉄)
6. 戦線から戦後へ(GHQによる戦後改革)
7. 大衆消費社会の到来と耐久消費財メーカーの発展
8. 高度経済成長と企業家 1: 松下幸之助(パナソニック)
9. 企業集団とメインバンクシステム
10. 高度経済成長と企業家 2: 井深大(ソニー)
11. 日本的生産システムの形成: トヨタ生産システム、豊田喜一郎と大野耐一
12. 流通のイノベーション: 中内功(ダイエー)・鈴木敏文(セブンイレブン)

13. 日本的雇用慣行(終身雇用・年功賃金・企業別組合)
14. 日本的経営システムの変容と企業家の役割:永守重信(日本電産)

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外に、授業中に出された小レポート課題に取り組んでもらうことがあります。

成績評価方法・基準(Evaluation)

期末レポート1(40%) / 期末レポート 2(20%) / 授業中もしくは授業後の小レポート(複数回実施予定)(40%)

テキスト(Textbooks)

1. 宮本又郎・岡部桂史・平野恭平編著、2014、『1からの経営史』、硯学舎 (ISBN:978-4-502-08900-8)
2. 宮本又郎・阿部武司・宇田川勝・澤井実・橘川武郎、2007、『日本経営史 江戸時代から21世紀へ 新版』、有斐閣 (ISBN:978-4-641-16300-3)

授業は、毎回、配布資料を中心に行いますので、テキストを購入しなくても受講に不都合はありません。より一層理解を深めたい方には、テキストを読むことをお勧め致します。

参考文献(Readings)

そのほか、適宜授業内で、参考文献や、内容を紹介した論文に関する情報をお伝えします。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

この授業では、海外の事例に触れることはありますが、基本的に日本の経営史を中心に講義形式で行います。また、映像資料も活用し、理解を深めていきます。

資料の配布、課題の提出などに Blackboard を使用します。

小レポート課題に対するフィードバックは、授業中に一部の学生の解答を取り上げて、講評する形で行います。

新型コロナウイルスの感染状況にもよりますが、原則として全授業回対面実施を予定しています。

(大学全体の活動制限レベルが引き上げられた場合は、オンライン授業に切り替わることもあります)

講義をきっかけに気になったことや関心が湧いたことについての発言を歓迎します。

なお、授業計画は各回の進み具合に応じて、予告なく変更することがあります。

注意事項(Notice)